

## 発刊にあたって

この小冊子は、当協会が、平成二十年度に開催した「青少年の非行防止」道民総ぐるみ大会における廣中邦充氏（浄土宗西居院住職）、北海道青少年育成大会における佐々木輝美氏（国際基督教大学教授）、青少年育成運動活性化研究協議会における上村文三氏（社団法人青少年育成国民会議副会長）の講演の内容をまとめたものです。

廣中氏の講演は「For You 青少年の居場所づくりのために」をテーマに、自身のお寺での体験をもとに愛情をもって子供たちと接することが大切であり、子ども達が発するシグナルにいち早く気づき、時には「厳しく」叱り、時には「優しく」包みこんであげることが大事と訴え、情熱あふれる語り口で青少年問題の核心に迫っております。

次に、佐々木氏の講演では「メディアと青少年―悪影響とその対応策―」をテーマに、近年、大きな社会問題となっているメディアが及ぼす、子ども達への影響とその対応策について述べられ、子ども達の実体験の重要性を訴えるとともに、メディアとの適切な関係を持つための対策として、有害情報を減らすことやアクセスの仕組みを検討する等を挙げ、聴衆に多くの示唆を与えました。

最後に「親や大人の青少年育成の姿勢を変えよう」をテーマとした上村氏の講演は、住民運動の原点について話され、地域の診断を行って青少年育成の現状を点検し、子どもを取り巻く家庭・学校・地域、親・大人・教師が変わることが大切と訴え、今後の運動の進め方を示されました。

いずれの講演も、次代を担う青少年を取り巻く諸問題について、家庭・学校・地域社会、そして行政機関等が対応するに当たって、今一度、青少年育成の原点に返りながら考える際の貴重な提言となっております。

この小冊子が、青少年育成運動に関わる方々に、いささかなりともお役に立てれば幸いです。

財団法人北海道青少年育成協会

会長 佐々木 亮 子